

あなたの ための 政治。

新型コロナ対策、「桜を見る会」前夜祭疑惑で論戦 11月25日衆参予算委員会

検査体制を拡充してこそ、 社会活動ができて経済が回る



衆院予算委員会で質問する
枝野幸男代表

枝野幸男代表は、安倍前総理事務所による「桜を見る会」前夜祭費用の補填疑惑について「明細や領収書などを出していただければ、この問題はすぐに結論が出ると求めてきたが、その通りだったということが今回、明らかになった」と訴えました。

安倍政権で官房長官だった菅総理に対し、「官房長官が知らなかったなんて言い訳は通用しない。菅総理自

身、この問題についての責任をどう感じているのか」と迫りました。

新型コロナウイルス対策について、「感染拡大防止と経済対策は、車の両輪ではない。ベースには『感染の抑制』がある。感染が抑制されているから社会活動ができて、経済を回していける」と訴えました。

GoToキャンペーンについて、「政府が人の移動や会食を推奨する以上は、(感染が)広がるリスクを抑え込めるだけの感染拡大防止策を、政府として取らなければいけない。それがなされていないまま旅行や会食を推奨する政策を取り、結果として感染が広がっているのではないか」と批判しました。

医療機関への支援強化を要請



衆院予算委員会で質問する
岡本充功政調会長代理

岡本充功政調会長代理は、医療機関の病床数が全国でひっ迫しているとし、病床が不足した場合に都道府県間の調整ができるシステムの整備を求めました。

医療機関の経営状況について、「4月に予算が成立した帰国者・接触者外来等設備整備事業の費用が26道県に支払われていない、6月に成立した重点医療機関設備整備事業の費用が40都道県に、救急・周産期・小児医療体制確保事業が18道県に支払われていない」(10月31日時点)と指摘し、「医療機関に第3波の対策をとれと言っても冬を越せない」と政府の医療機関への支援強化を強く訴えました。

年末に向けて社会がこわれないう予備費の執行を



衆院予算委員会で質問する
福山哲郎幹事長

福山哲郎幹事長は、新型コロナの新規感染者数が現在、4月に緊急事態宣言を発令した当時より、4倍も増え、特に菅政権発足以降に急増していると指摘し、「なぜ具体的な対策を打たなかったのか」と訴え、感染拡大に伴い「社会がこわれ出している」との危機感を表明。「7兆円の予備費でやれるものをやってもらいたい」と強く要請しました。

Withコロナで社会がこわれ出している

● 緊急小口資金等貸付	約130万件 (昨年 約4万件)
● 住居確保給付金	10万人超 (昨年 約400件/月)
● 雇用調整助成金	約180万件、約2兆2000億円
● DV相談件数	5～8月 前年同月比約1.4～1.6倍
● 児童虐待件数	1～6月 約10万件
● 自殺者数	7月以降4ヵ月連続で前年同月比増 10月は前年同月比39.9%増(速報値)
● 解雇・雇い止め	1月末～11月6日 7万人超(見込み含む)
● 非正規労働者	5月25日～10月末 約3万3千人(見込み含む)

虚偽答弁、立法府として真相究明すべき



衆院予算委員会で質問する
大西健介政調会長代理

大西健介政調会長代理は、菅総理が出演したニュース番組について、内閣広報官が番組側に電話したとされていること等を取り上げ、メディアや専門家が「圧力を感じて必要なことが聞けなくなる」と批判しました。

「桜を見る会」前夜祭について、当時官房長官だった菅総理の(1)事務所は関与していない(2)明細書はない(3)会費5000円で可能(差額は補てんしていない)——との答弁も虚偽の疑いがあると責任を追及しました。「刑事捜査とは別に、立法府として真相究明すべきだ」と訴えました。

衆参予算委員会の詳細は
党 HP をご覧ください。



立憲民主党コロナ緊急対策

国民の命と暮らし、経済を守るための政策転換を！

感染防止を最優先に！

積極検査と早期対応！

- ① エッセンシャルワーカーへ公費で定期的に検査実施
- ② 感染拡大地域のGoToキャンペーンを一時停止
※ 停止時は、国の責任で経済的支援

医療機関を支援！

- ① 昨年からの減収分に経済的支援
- ② 緊急包括支援金を早く届ける

都道府県の役割拡充！

- ① 都道府県知事が緊急事態宣言発出を要請できる
- ② 希望する方が安く早く検査を受けられる体制整備
- ③ 軽症患者・無症状患者に施設・自宅待機要請ができる

➡ 立憲民主党の新型インフルエンザ特措法改正案（提出予定）

生活と事業の支援を！

生活支援！

- ① 住居確保給付金の延長
- ② ひとり親世帯への再給付・大学授業料半額
- ③ 失業手当の支給割合引き上げ・日数延長

公共交通を支援！

- 固定資産税、航空機燃料税、着陸料を減免

事業・雇用支援！

- ① 自粛要請・感染拡大防止に協力した場合の経済的支援
- ② 持続化給付金、家賃支援給付金の拡充・延長
- ③ 雇用調整助成金、休業支援金・給付金の拡充・延長
- ④ 資本金性資金の供給

2020年11月20日 立憲民主党政務調査会作成

年末に向けて緊急対策を！

「年末に向けて生活に困って苦しんでいる人がどんどん増えている。経済を何とかしないといけないが感染を防止する、地域ごとにメリハリをきかせて対策をやろうということがあって然るべき。政府はなぜそういうメッセージが発信できないのか。判断するのは政治だ。立憲民主党として、コロナ対策の考えを明確にするために緊急対策をとりまとめた」（11月20日）



党新型コロナウイルス対策本部長・逢坂誠二衆院議員